

INAXライブミュージアム

# NEWS LETTER



vol. **48** OCT. 2018

## 特集 TOKONAME Meeting

フィールドは常滑！ ミュージアムでなにをする？



**01 特集 TOKONAME Meeting**  
フィールドは常滑！ ミュージアムでなにをする？  
Our field of interest is Tokoname! What can we do in our museum?簗輪孝治 陶芸家 / 稲葉直也 名古屋市立大学  
河合 忍 TSUNE ZUNE 店主 / 高橋孝治 プロダクトデザイナー**07 *Live* REPORT** 開催報告**REPORT 01** 企画展 急須でお茶を一宜興・常滑・香味甘美 かみかんび  
Exhibition: Tea Served in a Kyusu—Yixing & Tokoname, Sweet Aroma & Flavor

## オープニングセレモニー

Opening ceremony

関連書籍出版記念イベント

急須の心—中国宜興に学ぶお茶の原点

“The Mind of Kyusu—The origin of drinking tea learned from Yixing, China”

関連イベント

急須でお茶を愉しみましょう

Let's enjoy tea, served in Kyusu.

関連イベント

①お茶会「ブレケル・オスカル氏と急須でお茶を」

Tea party: “Tea served in Kyusu with Mr.Oscar Brekell”

②ブレケル・オスカル氏講演会「日本茶・急須 再発見」

Lecture: “Rediscovery of Nihoncha and Kyusu”

**REPORT 02** だるの遊園地2018—子どもは遊びの天才だ！  
2018 Mud Amusement Park—Children are geniuses at play!**09 *Live* SCHEDULE** これからの催し

企画展 和製マジョリカタイル—憧れの連鎖

Exhibition: Japan-made Majolica Tiles—Trail of Inspiration

光るだるだんご全国大会2018

2018 National championship for making shiny clay balls

2	1
4	3

[表紙写真]

## 1 企画展

「急須でお茶を  
—宜興・常滑・香味甘美」  
会場

## 2 宜興の急須

(企画展で展示)

## 3 通称「秘密基地」

(土・どろんこ館)

## 4 鉄の灯り

(土・どろんこ館)

**08**

ライブミュージアムに吹く風 Fresh perspectives at INAX MUSEUMS

4



## 心がうごく経験を

Have an experience that will move your heart.



「土とやきもの」の魅力と「ものづくり」の心に触れていただきたいとの想いで、展覧会やイベントを企画しています。

10周年特別展「つくるガウディー—塗る、貼る、飾る！」では、スペインの建築家アントニオ・ガウディへのオマージュとして、展示室いっぱいには構造物を約半年にわたり公開制作し、「つくること」の楽しさ、迷い、その時間の流れなど、制作の過程を多くの方に見ていただきました。「つくること」は、たくさんの思考や行為のなかで育まれます。頭と手を動かし、やがて心が動き、新しいアイデアや視点が生まれます。ライブミュージアムには、「つくる」の種が溢れています。その小さな種をつみあげ、これからも、さまざまなモノ・コトを「つくること」や、その遊びを体験・体感できる場所にしたいと思っています。

At INAX Museums, we want to bring the enriching experience of crafting objects and the charms of clay and ceramics to the public through our various exhibitions and events. For the 10-year Anniversary Special Exhibition of structures in the style of the Spanish architect Antoni Gaudí, titled “Making GAUDI”, we ran an open studio for around six months, offering a glimpse into the process of creating objects. INAX Museums is dedicated to providing visitors with the chance to experience for themselves the joy of crafting tangible objects and intangible things.

Keiko Mizuno 水野 慶子 (企画担当 Planning Manager)

## Report 01

### 企画展「急須でお茶を一宜興・常滑・香味甘美」<sup>かみかんび</sup>

Exhibition: Tea Served in a Kyusu—Yixing & Tokoname, Sweet Aroma & Flavor

4.21 Sat. - 9.25 Tue. 土・どろんこ館 企画展示室

お茶の時間をより味わい深いものにする魔法の道具「急須」の魅力を、中国・宜興<sup>ぎこう</sup>と常滑を中心とした古今の約50点の急須とともに紹介し、お茶を淹れるひとときの豊かさを改めて体感いただきました。

This exhibition presented some 50 different teapots (Kyusu) from Yixing (China) and Tokoname and other producing areas as well as appeal of Kyusu, a utensil that magically enriches tea time, and provided experiences of the enrichment of the act of drinking tea.



## オープニングセレモニー

Opening ceremony

4.25 Wed. 土・どろんこ館

オープニングセレモニーは、李秋宇宜興市副市長、片岡憲彦常滑市長ほか、関係者を迎えて開催されました。宜興市は、古くからの急須の名産地。なかでも「紫砂<sup>しさ</sup>」と呼ばれる深みのある色の急須は、清時代の文人はもとより、日本の京都や江戸の文化人、さらにはヨーロッパの人たちをも魅了しました。会場では、煎茶道 賣茶流家元 高取友仙<sup>ばいざりゅう たかとりゆうせん</sup>氏による煎茶がふるまわれ、展示を鑑賞した後、テープカット、挨拶と続き、最後に、常滑市・宜興市友好提携に向けた「覚書」に片岡市長、李副市長が署名。今後、二つの陶都がさらに友好を深め、ともにやきもの文化を発信することを確認しました。

We invited Li Qiuyu, a deputy mayor of Yixing city, and Norihiko Kataoka, mayor of Tokoname city, and held an opening ceremony. Both cities of ceramics declared that they will promote the appeal of their pottery culture.



関連書籍出版記念イベント

## 急須の心

—中国宜興に学ぶお茶の原点

“The Mind of Kyusu  
—The origin of drinking tea learned  
from Yixing, China”

An exhibition-related book launch event

8.8 Wed. 土・どろんこ館

今回の企画展において、ユニークな造形や精緻な細工でひときわ目をひく、宜興の現代作家たちの急須。その作り手を含む13名を招いてイベントが行われました。会場では自分の作品に込めた思いやデザインについて熱く語り、参加した常滑の作家たちとの質疑応答も。その後は、宜興の急須製作技法「パンパン製法」の実演や、出品作家の急須で淹れた中国茶のふるまいがあり、日中両国に流れる“お茶の心”に触れあう機会となりました。

From Yixing, China, 13 potters visited the museum, including those who had sent their works to be part of this exhibition. In the presence of the exhibited works, they commented on design and techniques. They then demonstrated the traditional techniques used to produce a Kyusu.



関連イベント

## 急須でお茶を愉しみましょう

Let's enjoy tea, served in Kyusu.

7.8 Sun. 世界のタイル博物館 講義室

主催：宜興・常滑友好交流プロジェクト実行委員会

煎茶道松風流、相場民清さんを講師に迎え、本格的な煎茶の淹れ方を学びました。各テーブルにつくのは、急須作りを得意とする常滑の陶芸家たち。それぞれの茶器で煎茶と玉露の淹れ方をアドバイス。

We invited an instructor of the Sencha Tea Ceremony Syofu-ryu and some Tokoname potters who are good at producing Kyusu, and provided an experience in how to serve good tea.



関連イベント

①お茶会

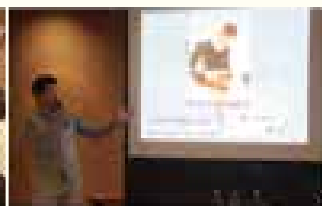
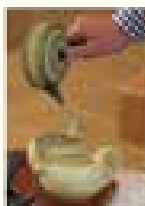
## 「ブレケル・オスカル氏と急須でお茶を」

Tea party:

"Tea served in Kyusu with Mr.Oscar Brekell"

日本茶インストラクター、ブレケル・オスカルさん（スウェーデン出身）は、国内外を飛び回って、急須で淹れる日本茶の魅力を伝えています。お茶会では「夏の日に冷茶は定番」と、まずは冷えた煎茶を自ら注いでいきました。「煎茶は冷水で淹れると、旨味と甘味を引き出すことができます」。まろやかで深みのある味に、顔を見合わせる参加者。オスカルさんおすすめの「シングルオリジン」（ブレンドしない単一農園や単一品種のお茶）2種の個性豊かな味と香りをゆっくりと味わいながら、会場の質問に答える形で、日本茶の魅力や急須で淹れるお茶の楽しみ方などをレクチャーしていただきました。

7.11 Wed. 土・どろんこ館



A lecture on Japanese tea by Oscar Brekell, Swedish Nihoncha instructor. He talked about the appeal of Japanese tea and how to enjoy tea served in Kyusu, with a demonstration. Visitors enjoyed drinking Single Origin Tea (a single, unblended variety of tea), recommended by Oscar.

②講演会

## 「日本茶・急須 再発見」

Lecture:

"Rediscovery of Nihoncha and Kyusu"

講師：ブレケル・オスカル

7.11 Wed. 土・どろんこ館

「スウェーデンで常滑の急須と出会ったのは高校3年の時。以来、いっしょに楽しい時間を過ごしてきました」と、オスカルさん。「常滑の急須の魅力は、日本茶が美味しくなること、使いやすさ、コストパフォーマンスの良さ、そして美しさ。特に赤い朱泥の急須は外国人に人気です。美しい急須はインテリア性もあり、置いておけば使いたくなる。日本文化にも触れたい。海外でも日本茶を楽しむ人が増えています」。「日本文化について、新しい発見と勇気をもたらした」と、参加者は声を弾ませていました。

Oscar, who has a comprehensive knowledge of Japanese tea and Tokoname's red clay Kyusu, talked about the appeal of such tea and Kyusu, as well as new developments in drinking tea as a Japanese culture, and Kyusu from a foreigner's viewpoint.

## どろんこ02

## どろんの遊園地2018

—子どもは遊びの天才だ！

2018 Mud Amusement Park

—Children are geniuses at play!

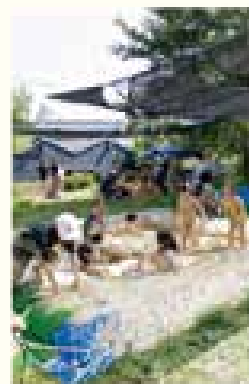
8.18 Sat.-8.19 Sun.

土・どろんこ館前 どろんこ広場



子どもたちに大人気の、土と遊ぶワークショップが今年も開催されました。「始めます!」のかけ声で、順番にどろんのプールに足を入れる子どもたち。「何これ?」「足が冷たい!」。体ごとどろんに浸かって、塗り合って、今日ばかりは叱られることはありません。木陰では、どろんだんごづくりや、砂場で要塞づくり。顔にどろん化粧をしてもらえば、気分も盛り上がります。今年も京都造形芸術大学の先生、学生さん、一般ボランティアのサポートで、思いっきり夏の日を楽しみました。

The annual summer holiday events feature a workshop on playing with clay, including "Clay field," a pool filled with clay for pottery, and "Clay face painting," painting on cheeks. In keeping with this year's theme, "Bonds-Tsunagu," children and students from Kyoto University of Art & Design played together using clay.



## 企画展「和製マジョリカタイル—憧れの連鎖」

Exhibition: Japan-made Majolica Tiles—Trail of Inspiration

11.3 Sat. - 2019.4.9 Tue. 土・どろんこ館 企画展示室

日本のマジョリカタイルの歴史をひもとくと、起源は19世紀のイギリスにあります。明治時代、洋館を飾ったヴィクトリアンタイルの美しさに模倣を始めた技術者。内装タイルのバイオニアメーカの誕生。東南アジアなどへの輸出。本展では、和製マジョリカタイルの魅力と世界へと広がるタイルの憧れの連鎖に迫ります。

Japanese Majolica tile created in tribute to the Victorian English tile. This exhibition presents the history of the Japanese Majolica tile since around 1900, with domestic and foreign examples and demonstrations.



素材の持ち味を活かした料理を提供する

Cuisine that captures  
the full flavor  
of the ingredients

pizzeria  
*la fornace*

ピッツェリア ラ・フォルナーチェ



●ピッツァ／クワトロフォンギ ●パスタ／サンマのブタネスカ

4種のきのこの風味と食感が格別な窯出しピッツァです。シメジ、エリンギ、マイタケは、美浜きのこらんどで採れた地元産ならではの旨味と香り豊かな味わい。パスタは、カリッとソテーしたサンマとブラックオリーブをアクセントに、ピリ辛のトマトソースで仕上げました。秋風が心地いいテラス席で、旬のイタリアンをお楽しみください。\*魚は変更する場合があります。

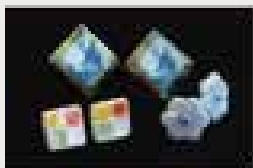
Lunch time: 11:00-14:30 L.O.  
Café time: 10:00-11:00, 14:30-17:15 L.O.  
Dinner time: 土・日・祝日 17:30-20:00 L.O.  
水曜日休(祝日は営業) TEL0569-34-8266

## MUSEUM SHOP

ミュージアムショップ

やきもの  
アクセサリ

Ceramic accessories



岐阜の七窯社で制作されている、手づくりのやきもののアクセサリ。

オランダタイルや花型タイルなどをモチーフに、小さなタイルが耳元を彩ります。

1,500円～(税別)

## 陶楽工房 Tiling Workshop

「モザイクタイルで飾る ミニツリー」

Mini-trees decorated with mosaic tiles

10.20 Sat. ~ 12.25 Tue.

[予約不要]

限定100個  
材料が  
なくなり次第  
終了



毎年、大人気のイベントです。カラフルなタイルとクリスマス素材で、壁掛けになるクリスマスツリーを作ります。玄関やトイレなど狭い空間にピッタリのサイズ (20cm×15cm) です。

料 金: 1,200円/個(税込、材料費込)  
お問合せ: 陶楽工房 TEL0569-34-7519

## 光るどろだんご Shiny Clay Ball Workshop

秋のテーマ「秋の空」

Autumn theme: "The autumn sky"

9.1 Sat. ~ 11.30 Fri.

[予約制]



秋の空は空気が澄んで、はるか遠くまで景色を見渡すことができます。夕暮れ時の空の、驚くほど綺麗な色合いを見たことはありません。紫色の空は幻想的で不思議な気持ちになります。日本人に馴染み深い桔梗色ききょういろも加わりました。それぞれの秋の空を描いてみましょう。

料 金: 800円/個(税込)  
お問合せ・ご予約: web、お電話、「土・どろんこ館」受付にて  
TEL0569-34-6858

## 光るどろだんご全国大会 2018

2018 National championship  
for making shiny clay balls

11.25 Sun.

中部国際空港セントレア 4階  
スカイタウン内イベントプラザ

27都道府県39会場で行われた地区大会を勝ち抜いた代表選手が、中部国際空港セントレア(常滑)に集結。「光るどろだんごづくり」の腕を競います。今年はどうなドラマが生まれ、どんな作品が日本一に輝くのでしょうか。



Contestants who won the regional round at 39 sites nationwide will meet together at the Centrair airport in Tokoname. They will compete with each other in a championship match for making shiny clay balls.

## アンケートご協力をお願い

当館の季刊誌「NEWS LETTER」は年2回の発行となり、公式HPでも全ページがご覧いただけるようになりました。印刷版「NEWS LETTER」のご送付継続などにつきまして、アンケートにご協力をお願いいたします。以下URLにアクセスの上、ご回答をお願いいたします。



<https://jp.surveymonkey.com/r/newslettervol48>

アンケートにお答えいただいた方より抽選で10名様に、ライブミュージアムオリジナルデザインのトートバックをプレゼントします。(抽選の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。)



## museum collection

ミュージアムコレクション

48



### 淡路焼三彩扇タイル

Awaji ware,  
Three-color glaze fan tiles

日本国内のタイルの主要産地のひとつに兵庫県の淡路島があります。江戸時代後期、かしやうかんべい賀集珉平(1796-1871)により独自の鮮やかな数瓦製造法が編み出されました。当時は淡路焼数瓦と呼ばれ、美術工芸品などと同様花瓶敷きや置物台としてつくられました。珉平の名をとって珉平焼とも呼ばれ、華やかな多色模様を特徴とします。その文化と技術は淡陶社(現株式会社Danto Tile)へ引き継がれ、国産内装タイル生産の礎を築きます。

このタイルは1890年代頃のものと推測されます。タイルが本格的に大量生産される前の時代。工業製品ではなく、工芸品としての佇まいをそなえたタイル。三彩の釉薬の美しさが際立つ逸品です。

Before starting full-fledged mass production, the tiles are manufactured using a method for producing ceramics that are characterized by their vivid and multicolored designs, which was devised by the founder of the Awaji-yaki style of pottery ware, Minpei Kashu (1796-1871). This masterpiece tile showcases the striking beauty of the three-color glaze that adorns such ceramic ware. The culture and techniques used to produce these tiles have been carried on by the Danto Company (now, Danto Tile Co., Ltd.), which has established the foundation for the domestic production of decorative tiles.

資料名:「三彩扇タイル」 ●サイズ:89×133×16cm ●淡路焼 ●制作年代:1890年頃



## INAX ライブミュージアム

〒479-8586

愛知県常滑市奥栄町1-130

TEL.0569-34-8282 FAX.0569-34-8283

<http://www.livingculture.lixil/ilm/>

開館時間——10:00am~5:00pm(入館は4:30pmまで)

休館日——水曜日(祝日の場合は開館)、年末年始

共通入館料——一般:600円、高・大学生:400円

小・中学生:200円(税込、各種割引あり)

交通——<バス>

- 名鉄線「常滑駅」または中部国際空港より知多バス「知多半田駅」行き「INAXライブミュージアム前」下車徒歩2分

<お車>

- 名鉄線「常滑駅」より約6分
- 中部国際空港より約10分(セントレアライン「りんくうIC」降りる)
- 知多半島道路「半田IC」より約15分
- セントレアライン「常滑IC」より約7分(乗用車・バス駐車場完備)

## INAX MUSEUMS

1-130 Okuei-cho, Tokoname-shi,  
Aichi Prefecture 479-8586 Japan  
<http://www.livingculture.lixil/en/ilm>

### Hours:

Open (Museum & Shop): 10:00-17:00  
(Last entry:16:30)

Closed: Wednesdays (Open if the Wednesday is a public holiday), New Year holidays

### Admission Fee (tax inc.):

Adults ¥600

High school and college students ¥400

Elementary and junior high school students ¥200

### Access

By Bus:

From Meitetsu Tokoname Station or Centrair Central Japan International Airport, take Chita Bus bound for "Chita Handa Station". Get off at "INAX Live Museum-mae". Two-minute walk from bus stop.



\* INAXライブミュージアムはLIXILが運営する文化施設です。 \* INAX MUSEUMS is operated by LIXIL Corporation.